

### 月平均 500mb 天気図. 1991年 7月

(破線は平年からの偏差. 単位m)

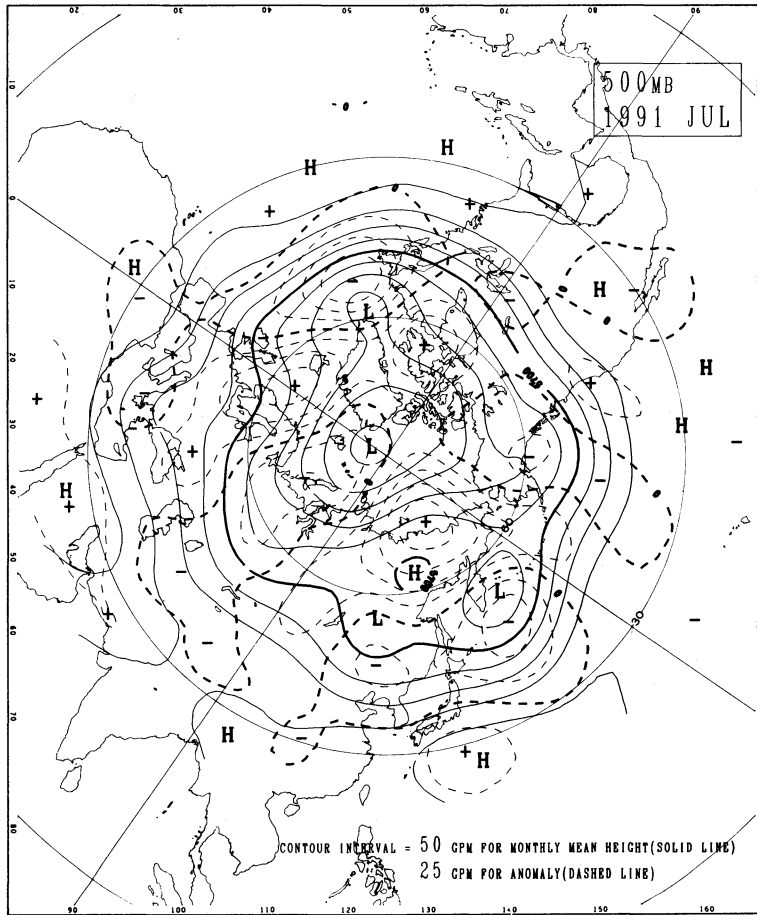


表1 1991年 7月の気候表

地点名	気温 ℃	偏差 ℃	DT/SD	降水量 ミリ	比率 %	降水 階級	地点名	気温 ℃	偏差 ℃	DT/SD	降水量 ミリ	比率 %	降水 階級
パリ	—	—	—	—	—	—	カサブランカ	23.2	1.0	1.7	2	2000	5
ベルリン	21.0	2.3	1.4	33	54	1	ニオロドサヘル	—	—	—	—	—	—
ローマ	—	—	—	—	—	—	ブレトリア	12.1	1.1	0.9	0	0	3
イスタンブール	—	—	—	—	—	—	バンクーバー	17.8	0.5	0.5	34	103	4
モスクワ	18.1	-0.3	-0.2	84	99	—	ニューオーリンズ	28.6	0.5	0.6	334	180	6
オデッサ	23.8	2.0	1.5	16	37	1	セントルイス	27.2	1.1	0.8	132	143	4
ニューデリー	33.4	2.4	2.7	98	42	1	サンフランシスコ	17.6	0.8	1.0	0	0	3
カルカッタ	30.1	0.9	2.3	835	251	4	ニューヨーク	26.0	1.3	1.3	86	95	3
ボンベイ	27.1	-0.5	-1.7	1235	165	5	マナウス	—	—	—	—	—	—
ホンコン	28.9	0.3	0.8	294	93	3	リオデジャネイロ	—	—	—	—	—	—
チャンチュン	21.8	-1.1	-1.2	313	171	5	ロサリオ	10.0	-0.3	-0.1	56	135	4
ベキン	25.9	0.0	0.0	198	103	4	ホノルル	27.3	1.0	1.3	4	25	2
シャンハイ	28.0	—	—	281	—	5	タヒチ	25.0	0.6	1.5	12	23	1
バンコク	29.3	0.6	1.5	182	105	—	ダーウィン	25.4	0.7	0.9	0	0	4
マニラ	29.5	1.8	4.5	300	87	3	キャンベラ	6.3	0.9	1.1	108	273	6

## 7月の世界の天候

7月の月平均500mb高度天気図によると、東シベリアでは、ほぼ月を通して気圧の尾根の場が持続し、極東の北緯60度の高度は+43mと、これまでで最も高い値となった。この東シベリアの正偏差と、その南の日本付近の広い負偏差で偏西風は大きく分流した。この傾向は大西洋方面でも見られる。また、太平洋高気圧は日本の南海上で発達していたため、梅雨現象は活発で、西日本の日本海側、北陸及び東北地方は日照不足と多雨に見舞われた。

## ① シベリア東部の高温

ベルホヤンスクで月平均気温 20.4°C (平年差+5.3°C) など、シベリア東部で高温となった。

## ② 朝鮮半島南部から長江流域にかけての多雨

前線の停滞することが多かった朝鮮半島南部から中国の長江流域にかけて多雨となり、武漢で月降水量720mm (平年の4.0倍) を記録した。中国東部の長江流域では大洪水が発生し、2,000人以上の死者がでた。

## ③ インド北部とインドシナ半島の高温

インド中部や南西部ではモンスーンが活発で平年を上回る降水があったが、北部は不活発で少雨、高温となった。

## ④ ヨーロッパの高温

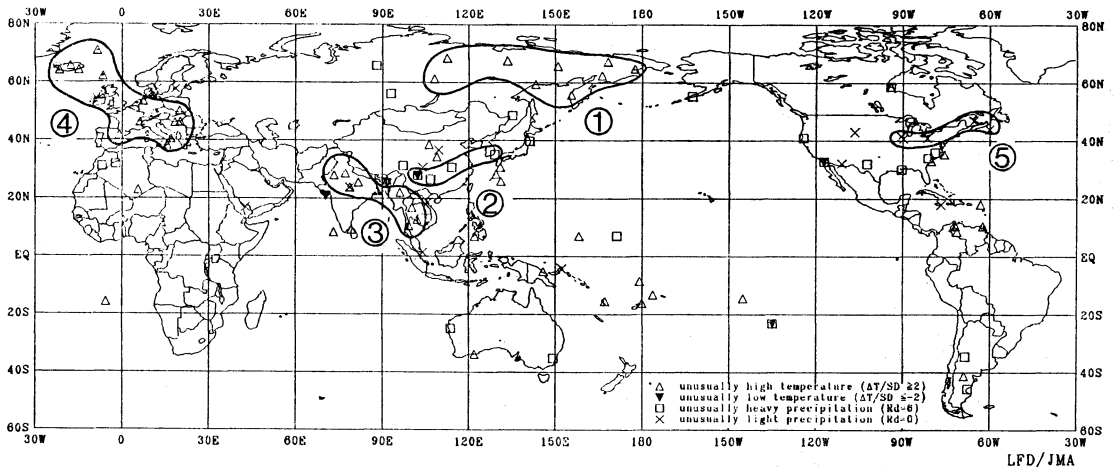
ヨーロッパでは、2カ月以上続いていた低温傾向が一転し、ほぼ全域で平年よりかなり高い気温となった。また、ソ連のウラル地方では6月の記録的高温から転じて、北部では逆に平年より低くなった。降水量は、東欧や北欧の広い範囲で少雨傾向となったが、オーストリア東部やハンガリーなど、ヨーロッパ南東部地域で平年をかなり上回った。月末に、ルーマニア北部で、大雨により数十人の死者を含む洪水被害がでた。

## ⑤ アメリカ合衆国北東部の少雨

アメリカ合衆国では、北東部で降水量が平年より少なく、五大湖の南の穀倉地帯では、平年の約半分の降水しかなかった。一方、南部や南東部は多雨となった。

## ⑥ その他

モロッコでは、平年のこの時期にほとんど降水のない地点で、数mmから20mmの降水があり多雨となった。またアルゼンチンでは、中部や北東部で降水量が平年より多く、月前半には一時期大豆の収穫作業に遅れが出た。オーストラリアでは、西部と南東部で降水量が平年をかなり上回ったが、北東部では依然少雨傾向が続いている。  
(気象庁長期予報課 石原 洋)



1991年7月の世界の異常天候分布図

△ : 高温 ▼ : 低温

図中の番号は、本文中の番号と対応している。

□ : 多雨 × : 少雨

1991年7月の気候表の説明、平年値は1951~1980年のデータに基づくもの。降水階級は五分位値で、0は最小値より小さい場合、6は最大値より大きい場合。500mb高度場の平年値は1961~1990年の30年平均値。